

附属学校最新情報紹介

学校名	大阪教育大学附属平野小学校		
役 職	PTA 会長	氏 名	藤井 由香
活動名	みんなで海の豊かさを守ろう！ヘチマプロジェクト		

【活動の趣旨】

本校のPTAサークルに「AKP24」という教育支援サークルがあります。AKPとは「明日の教育を共に創り出す保護者（Parents）の会」を意味します。

このサークルが主体となり、SDGs14番目の目標である「海の豊かさを守ろう」を掲げて、「ヘチマプロジェクト」という活動に取り組んでいます。キッチンスポンジなどのプラスチック製品を使うと、擦れてできたマイクロプラスチックごみが排水口から河川を通りやがて海洋へと流れていきます。このマイクロプラスチックごみを魚が食べ、その魚を人間が獲って食べると健康被害が懸念されます。このような構図を払拭するために、子供たちと一緒に栽培したヘチマの実を加工してヘチマたわしを作りました。作ったヘチマたわしは校内清掃に用いる他、児童の各家庭で使ってもらうことで利用の拡大を目指しています。またヘチマたわしの有効活用、ヘチマプロジェクトの周知に向けて、動物園や水族館との連携を計画しています。

【活動の内容】

今年度は冬の「わくわくイベント」で保護者と共にヘチマをカットし、皮をむき、ヒモを通す加工を行いました。子どもたちは授業で学ぶSDGsについて保護者と共に体験することでさらに深い理解につながる楽しい体験ができました。実はヘチマの皮を剥くのは個体によっては容易でないことがあります。保護者のアドバイスで工夫することで、子どもたちはヘチマを上手に剥くことができていました。

今後の活動として子どもたちによるヘチマたわしの商店街での販売も計画しています。そのことを通じてさらに金銭教育にも貢献したいと考えています。

【活動の感想】

ヘチマたわしを通じて遠い海洋環境を身近に感じる活動を行うこと。その活動を保護者と共に楽しく行うことで子どもたちは自分たちを取りまく環境についての関心を持つことができるようになっていきます。またこの活動は本校の他、10の幼稚園・保育園・こども園・小学校、4つの自治体が参加・協力しており、同じ目標に向かう1つのチームとして活動しています。また地域社会との繋がりを持つ取り組みにもなっています。今後も子どもたちが自身を取り巻く環境に興味を持つ取り組みを進めてゆきたいと考えています。



ヘチマにヒモを通して・・・



海の環境について真剣に聞き入る子どもたち